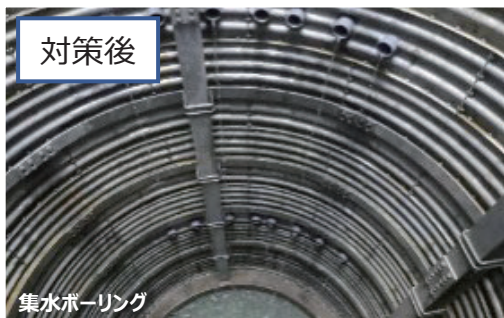
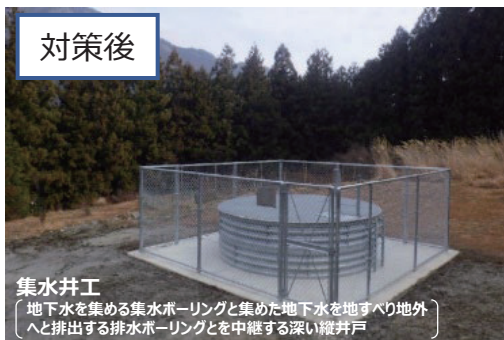


地すべり対策で人家、人命を守る (徳島県美馬市)

事業者：徳島県

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例

I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化



I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

対策名：No.17 全国の土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策

事業名：事業間連携砂防等事業（谷口カゲ地すべり対策事業）

- ポイント**
- 3か年緊急対策により地すべり対策工の整備を前倒し実施
 - 地すべり被害を防止し、避難路と家屋を保全

地域の概要・課題

平成26年台風第11号では日合計降水量331mm、時間最大降水量45mmを観測し、地すべりブロックの崩壊が発生しました。

これにより、地域の避難路である市道が通行止めとなり、避難に支障が生じました。

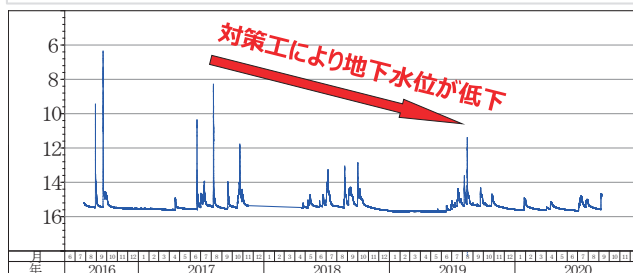
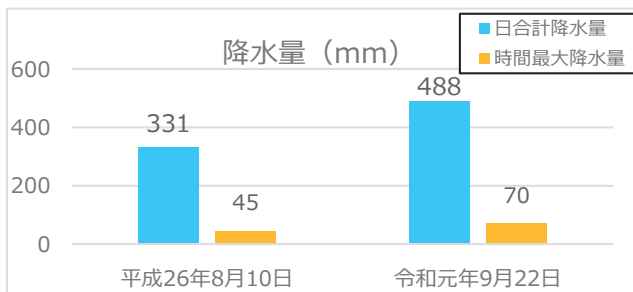
事業の概要

再度、土砂災害が発生した場合は、市道が被災し、避難に支障が発生する危険性が高いことから、地すべり防止施設の整備を行うことで、土砂災害から避難路である市道及び家屋を保全するため、3か年緊急対策として地すべり対策を実施しました。

効果

令和元年台風17号では、日合計降水量488mm、時間最大降水量70mmを観測しました。

集水井工等の地すべり対策により地すべりの要因となる地下水位を低下させ、地すべり被害を防止しました。



I-3 避難行動に必要な情報等の確保